



ながい休憩

櫻井 あや乃

油彩、キャンバス

死ぬことは人間の終着点ではなく、どこかへ至るための休憩のようなものであってほしいと思う。

この絵のタイトルはそんな思いでつけた。

2021 年に家系図を作成した。家系図で辿れたのはほんのわずかな先祖の一部で、数千、数万の歴史の中で無数の人々が連なって私は今ここに存在している。

そのことを強く実感し、“先祖”というキーワードが私の制作全体の軸となった。

現在の私を構成している先祖たちはどこにいるのか、我々にはいずれ至る場所があるのだろうか。

あるいはその道中のことについて、制作を通して考えている。